

第5章 計画区域におけるにぎわい創出

1 全体的な考え方

計画区域においてにぎわいを創出するため、公共事業による施設整備といったハードの部分と民間活力の導入等のソフトの部分の組み合わせることにより実現を図ります。

計画区域の基本方針

- (1) 市民の健康づくりを支える空間づくり (2) 多様な活動ができる空間づくり
(3) 周遊性などを活かす空間づくり (4) 協働で魅力を高める空間づくり



①公共事業による施設整備

河川敷周辺におけるにぎわい創出のため、公共事業による施設整備を推進します。

②地域・団体との連携

地域により親しまれる河川敷として魅力を発信していくため、周辺の町会・自治会、地域で活動する各種団体などと連携しながら、利活用の促進を図ります。

③市民ボランティアとの協働

市民のボランティア活動の場としての利用が活性化するように、各拠点でのボランティア活動支援を拡充していきます。

④民間活力の導入 (指定管理者制度、P-PFI 等)

民間事業者等の技術や知識などのノウハウ、資金等の導入により、公的サービスの質の向上、行政運営の効率化を進めていくため、指定管理者制度や P-PFI などの制度を活用していきます。

⑤広域的な連携促進

各施設や主体との連携をさらに強化し、河川敷の魅力を総合的に高めるため、広域的な連携の促進を図ります。

詳細な取組みについては P.33 を参照。

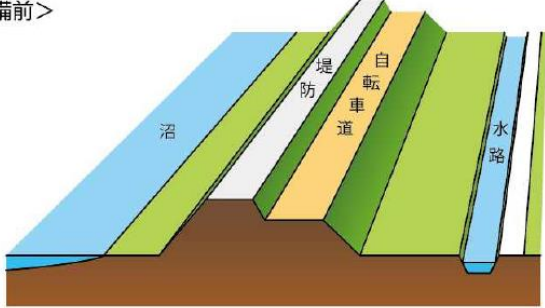
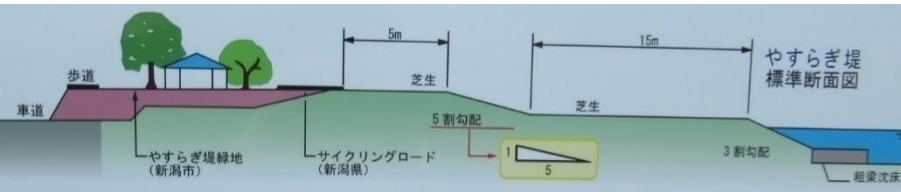
2 取り組み事例

(1) 公共事業による施設整備

河川敷におけるにぎわい創出に向けた、公共事業による施設整備の推進事例です。

事業名等	概要
サイクリングロード 休憩施設 (江戸川) 国土交通省 埼玉県三郷市	- 江戸川堤防のサイクリングコース上に休憩施設（トイレ、ベンチ、サイクルスタンド、案内サイン）を整備。 - サイクリングコースは国交省が河川管理用道路として整備。  現地案内板より  日よけのシェルターとベンチ  ベンチとトイレ  サイクルスタンド  周辺の案内サイン

事業名等	概要
水辺の健康エコロード 一里塚（休憩施設） （江戸川） 国土交通省 千葉県松戸市	- 江戸川堤防のサイクリングコース上に休憩施設（トイレ、四阿、ベンチ、サイン、植栽）を設置し、一里塚と命名。 - サイクリングコースは国交省が河川管理用道路として整備。  水辺の健康エコロードマップ 現地案内板より  休憩施設（あずまや）  一里塚の植栽とベンチ  誘導サイン（道しるべ）  一里塚のサイン

事業名等	概要
サイクリングコース 休憩施設 (印旛沼) 国土交通省 千葉県八千代市 かわまちづくり事業	- 国土交通省の「かわまちづくり」に登録された事業。 - 河川管理者の国土交通省が堤防の腹付け盛土や坂道、階段等の基盤整備を実施し、八千代市が休憩施設(トイレ、屋根付ベンチ、サイクルスタンド、サイン、駐車場)を整備。 <整備前>  <整備後>    休憩施設(八千代市整備) サイクリングコース(国整備) 国土交通省ホームページより
信濃川やすらぎ堤 緑地 (信濃川) 国土交通省 新潟県新潟市	河川管理者の国土交通省が堤防本体、新潟県がサイクリングコース、新潟市が腹付け盛土や休憩施設(トイレ等)を整備。    ベンチとあずまや トイレと自販機 遊覧船船着き場  現地案内板より

(2) 地域・団体との連携

地域により親しまれる河川敷として魅力を発信していくため、周辺の町会・自治会、地域で活動する各種団体などと連携しながら、利活用の促進が図られた事例です。

① 八潮市における地域・団体の河川敷活用事例

事業名等	開催概要
中川やしお花桃まつり 主催：(一社)八潮市観光協会 後援：八潮市、八潮市商工会	・八潮市の花である「花桃」や菜の花が咲く3月下旬の土日に開催されるイベント。 ・「花桃色で集まろう」「中川クルージング体験」「大声コンテスト」「模擬店」「地元農産物直売」「特産品・推奨品販売」「花桃ライブ」など。 ・隣接する中川やしお水辺の楽校でも特別イベントが同時開催され、「和船遊覧体験」「カヌー体験」などが行われる。   花桃まつり 花桃ライブ
やしお水辺の楽校 中川やしお子どもの水辺協議会	・「水辺の楽校」とは、子どもたちの地域の身近な水辺における環境学習や自然体験活動を推進することを目的として、国土交通省、文部科学省、環境省の連携により進められているプロジェクト。 ・平成27年に「中川やしお水辺の楽校」が開校し、「中川やしお子どもの水辺運営協議会」（周辺町会や近隣小学校、カヌークラブ、自治体等で構成）が運営・管理、イベントなどを実施。   夏まつりイベント カヌー教室 八潮市商工観光課 商業&観光元気UP! サイトより

② 他都市における地域・団体の河川敷利活用事例

事業名等	開催概要
わくわくプロジェクト vol.2～河川敷巨大公園化プロジェクト～ 兵庫県 加古川スケートボード協会	・加古川市内にスケートボード施設「スケートパーク」を作ろうと署名活動をしている団体で、スクールの開催、公共施設の清掃活動ボランティアなどを実施。 ・「加古川市協働のまちづくり推進事業（助成金）」で採択され、スケートボードの無料体験や気球搭乗体験（有料）ができるイベントを主催。 河川敷を活用したスケートボード場 （イメージ）
あかばねピクニックフェスタ 東京都 一般社団法人 東京北区観光協会	・荒川河川敷初の試みとして、デイキャンプをはじめとしたイベントを開催。 ・グランピングやキャンピングカーやサウナカーなどのデイキャンプ体験、電動サーフボード、トイドローン体験、災害対策支援船の乗船や操縦体験などの多様なプログラムを実施。 多様な利用がされている 荒川河川敷 荒川・墨田川で活動する 災害対策支援船

(3) 市民ボランティアとの協働

市民のボランティア活動の場としての利用が活性化するように、各拠点でのボランティア活動支援の事例です。

① 八潮市における河川敷の市民ボランティア活動事例

事業名等	開催概要
中川やしおフラワーパーク及び中川やしお水辺の楽校での花壇管理	- 市内商店会の活性化や、市外からの観光客誘致を図るため、商工会等のパワーアップ事業に基づき中川の河畔に、花桃の木、菜の花、コスモスなどを植え、四季を通じて市民の憩いの場を整備。 - ボランティアによる花の管理、草取りや清掃活動を実施。   ボランティアによる芝桜の植栽 綺麗に清掃された水辺の楽校
やしおの川をきれいにする会	- 環境省水・大気環境局長から水・土壌環境保全活動功労者として表彰された団体。 - フラワーパーク付近などの河川清掃活動、中川の希少植物保護（草刈り等）、埼玉県主催のイベントへの参加などの活動を実施。   清掃活動の様子 希少植物保護活動 八潮市ホームページより

② 他都市における河川敷の市民ボランティア活動事例

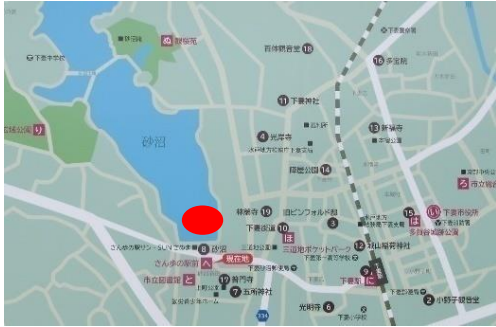
事業名等	開催概要
河津桜守人の会 静岡県河津町	・町の木である河津桜の保護・育成のため、マスタープランを作成。保護育成活動の担い手となる河津桜守人の認定、サポーターの登録制度、樹木管理参加者の拡充など、町民ボランティアとの協働で取り組んでいる。 ・町内の河津桜並木・名所などの定期点検、カルテの作成、処方の処置、桜まつりなどでの桜案内、地区の名所づくり、次代の育成などを実施。 河津桜まつり (イメージ)
多摩川河川敷清掃活動 ～グリーンアクションたまがわ～ 東京都大田区	・多摩川の豊かな自然を守るために実施している区のイベントで、清掃活動とともに、物品販売、パネル展示なども実施。 ・河川敷を歩きながらごみを拾い、自然環境保護の大切さを考えることを目的としており、自治会や町会、企業や市民団体など令和元年は 56 団体、約 2000 人が参加。 河川敷での清掃活動 (イメージ) 河川敷でのイベント

(4) 民間活力の導入(指定管理者制度、P-PFI 等)

民間事業者等の技術や知識などのノウハウ、資金等の導入により、公的サービスの質の向上、行政運営の効率化を進めていくため、指定管理者制度やP-PFIなどの制度を活用した事例です。

事業名等	開催概要
大阪府営 深北緑地 深北緑地パートナーズ 指定管理者制度	- 多目的遊水地として整備された公園(41ha)で、平常時はレクリエーションやスポーツが楽しめる緑地公園。 - ドッグラン、3 か所の大型遊具施設、波の広場、BMX 広場、BBQ 広場、屋外スポーツ施設などが整備されている。 - 指定管理者の創意工夫により、パークランの実施、ヨガ教室や3×3 バスケットボールスクールの開催、トレーニングジムの運営などを実施している。  遊水池の越流堤を活用した スケートボード場  遊水池の越流堤を活用した BMX 広場  多目的スポーツ広場  子供に大人気の大型遊具

事業名等	開催概要
東京都北区立北運動場外 9 施設の指定管理者 東京都北区 指定管理者制度	- 指定管理者制度を活用し、競技場や野球場、庭球場、スポーツ広場など、自治体内の複数の体育施設を一括して民間が管理運営を実施。 - 自主事業としてテニス教室やトレーニングプログラムなどを実施。   テニス教室の実施 荒川河川敷の野球場
隅田公園オープンカフェ 東京都台東区 P-PFI	- 隅田川の水辺とその周辺地域に恒常的なにぎわいを創出し、地域の活性化を図ることを目的に水辺空間を活用したオープンカフェを出店。 - 民間事業者が占用主体となり、占用施設の整備・管理運営、イベントの実施、地元への還元など運営状況を隅田公園オープンカフェ協議会に報告、確認しながら運営している。   店舗運営だけでなく、水上バスや地域と連携したプロジェクトなども検討されている。

事業名等	開催概要
入間川とことん活用プロジェクト 埼玉県 狭山市 施設使用契約	- 埼玉県の水辺空間とことん活用プロジェクトの一環として、子どもの遊び施設、駐車場の増設などを実施。 - 民間施設導入事業としてカフェを設置。「都市・地域再生等利用区域」において、独立採算により飲食施設の整備・運営を行う事業者の公募、選定を行い、令和3年3月に開業。 - 狭山市が占用者として、河川管理者(県)、協議会(地域)、施設使用者(民間企業)をつなぎ事業実施。  民間事業者によるカフェ  カフェに隣接した複合遊具
観光交流センター さん歩の駅サン・SUN さぬま 茨城県下妻市 指定管理者制度	- 活力あるまちづくりを推進するため、観光交流を目的として下妻市が整備した施設。 - 指定管理者は、カフェレストランを運営する榊坂東太郎。(2階/堤防レベル) カフェレストラン、観光情報案内(1階) 観光物産販売所(下妻マルシェ)  現地案内板より  2階が砂沼の堤防レベルのカフェ  1階が観光物産販売所 砂沼の堤防

(5) 広域的な連携促進

各施設や主体との連携をさらに強化し、河川敷の魅力を経営的に高めるため、広域的な連携の事例です。

① 八潮市における広域的な連携促進事例

事業名等	概要
埼玉県東南部都市 連絡調整会議 5市1町 草加市・越谷市・ 八潮市・三郷市・ 吉川市・松伏町	- 埼玉県東南部地域に位置する5市1町が、平成3年に設立した任意の協議会。 - 共通する行政課題に関する調査研究、公共施設予約システムの運用、各種研修、広域連携事業（バスツアー、ガイドマップの作成）などを実施。 - 公共施設予約システム「まんまるよやく」は5市1町にある公共施設の使用申込に対して、インターネットに接続したパソコン、スマートフォンから、24時間365日どこからでも抽選、空き状況照会や使用申込ができるシステム。  まんまるよやくホームページ
中川・綾瀬川流域 治水協議会 河川事務所、 流域自治体、 鉄道会社、 気象庁など	中川・綾瀬川流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うため、令和2年に国交省河川事務所が設置。  中川・綾瀬川流域治水協議会 会議資料より

② 他都市における広域的な連携促進事例

事業名等	概要
生田緑地マネジメント会議 神奈川県 川崎市	- 多様な施設・管理者（園地、美術館、ゴルフ場等）を有する生田緑地の目指すべき将来像を示した「生田緑地ビジョン」に基づき、協働のプラットフォームとして川崎市が会議を運営。 - 緑地内で活動する活動団体や地域団体・大学、指定管理者・川崎市など61もの団体で構成されている。  ビジターセンターにおける活動団体のパネル展示  情報共有のためのニュースレターの発行
狭山丘陵フェア実行委員会 埼玉県 東京都	狭山丘陵の魅力を発信し、協働による保全や活用を図るため、都県境を越えた施設、団体（公園管理者、観察センター、財団、博物館など）が一体となって普及啓発する団体。イベント、シンポジウム等を主催。  様々な情報を提供している狭山公園パークセンター  狭山公園での観察会

3 本計画区域における「にぎわい創出」の取組み

計画区域において、にぎわいを創出するため、中川河川敷の特性、及び施設利用者を対象としたヒアリング結果等から、地域・団体・民間事業者と連携し、多様なハードとソフトを組み合わせることにより、にぎわい創出を図ります。

(1) 公共事業による施設整備

- 計画区域の基本方針の「周遊性などを活かす空間づくり」を実現するため、サイクリングや散歩等を行う人たちの休憩場所となる施設の整備を検討します。
- トイレや手洗い場などは大瀬運動公園、下河原運動広場、中川河川敷包括占用区域内に設け、その間の堤防上には屋根付き等の日陰となるベンチ等を適切な場所への設置を検討します。

【イメージ】



トイレ



屋根付休憩施設



案内サイン（広域地図）



屋根付きベンチ



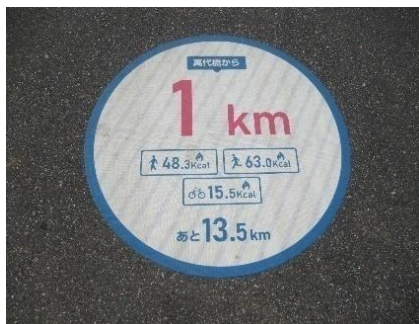
樹木の日陰となるベンチ



誘導サイン（道しるべ）

- 八潮駅から中川やしおフラワーパークまでの観光ルートの設定を検討します。
（誘導・距離表示サイン設置、花桃をイメージしたカラー舗装の遊歩道）

【イメージ】



(2) 地域・団体との連携

- 関係団体が作成する計画「川の駅構想（八潮市観光協会）」、及び「八潮市観光ビジョン（八潮市商工会）」について役割分担のもと関係団体との連携を図ります。

川の駅構想（八潮市観光協会）	八潮市観光ビジョン（八潮市商工会）
【中川やしおフラワーパーク周辺】 >観光協会出張所にてシェアサイクル >中川マリーナ・カフェテラス >朝市、軽トラ市	【商品・サービス案】 >やしおアグリ・カルチャー 魅せる農業、本物の味を知る機会 の創出⇒イベント

【イメージ】



駅前のシェアサイクル



水辺のカフェテラス



農家の庭先での朝市



子供達による
大根の収穫体験



農家のお母さん達が運営
する里山食堂(廃校利用)



地元野菜を使った
里山ランチ

- 堤防の周遊性を活かした親子マラソンなどの開催や、ミズベリング※といった新しい水辺の活用等、様々な形での連携を検討します。

(※ミズベリングとは、新しい水辺の活用の可能性を切り開くための官民一体の協働プロジェクト)

【イメージ】



堤防上にカフェ(左)、河川敷にバーベキューテント(中)、川に遊覧船(右)(信濃川やすらぎ堤(新潟市))

(3) 市民ボランティアとの協働

- ・ 中川やしおフラワーパーク及び中川やしお水辺の楽校での市民による花壇管理等の実績を活かすなど、再整備する大瀬運動公園、及び下河原運動広場において、花いっぱいの中川河川敷の実現を促進します。

【イメージ】



住民参加で花壇や畑の管理運営を行っている（中原ふれあい防災公園（柏市））



住民参加を呼び掛けているポスターと住民活動の道具置き場（中原ふれあい防災公園（柏市））

(4) 民間活力の導入(指定管理者制度等)

- ・ 計画区域の公共施設を包括的に管理運営すべく、指定管理者制度を活用して民間事業者を選定し、安心・安全・良好なサービスの提供を図ります。
- ・ 民間事業者によるキッチンカー等の設置の許可など、飲食物販機能の誘導方法を検討します。

【イメージ】



トイレ等の建物に併設した指定管理者の事務所（左）。指定管理者は、公園全体の清掃・安全管理や運動施設の貸出受付（中）、キッチンカーの運営（右）、イベントの実施などを担う。

(5) 広域的な連携促進

- 中川新堤防を新たな観光資源として捉え、市内外からの自転車利用に繋がるような取組みとして、サイクリングコース等を長く連続させるため、堤防が途切れている区間の整備促進を国や県に働きかけると共に、整備後は近隣自治体と協力し、埼玉県から東京都等にまたがる長いサイクリングコース等を検討します。

【イメージ】



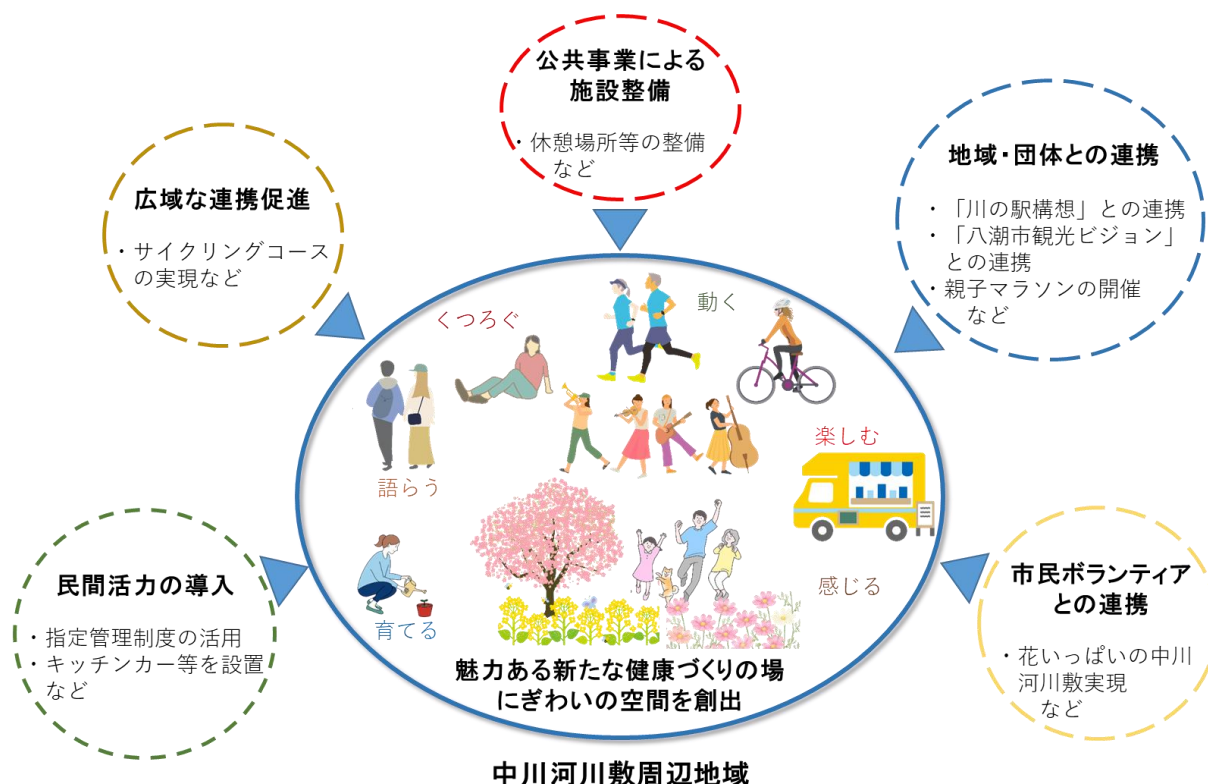
日陰のあるベンチとトイレ



サイクルスタンド

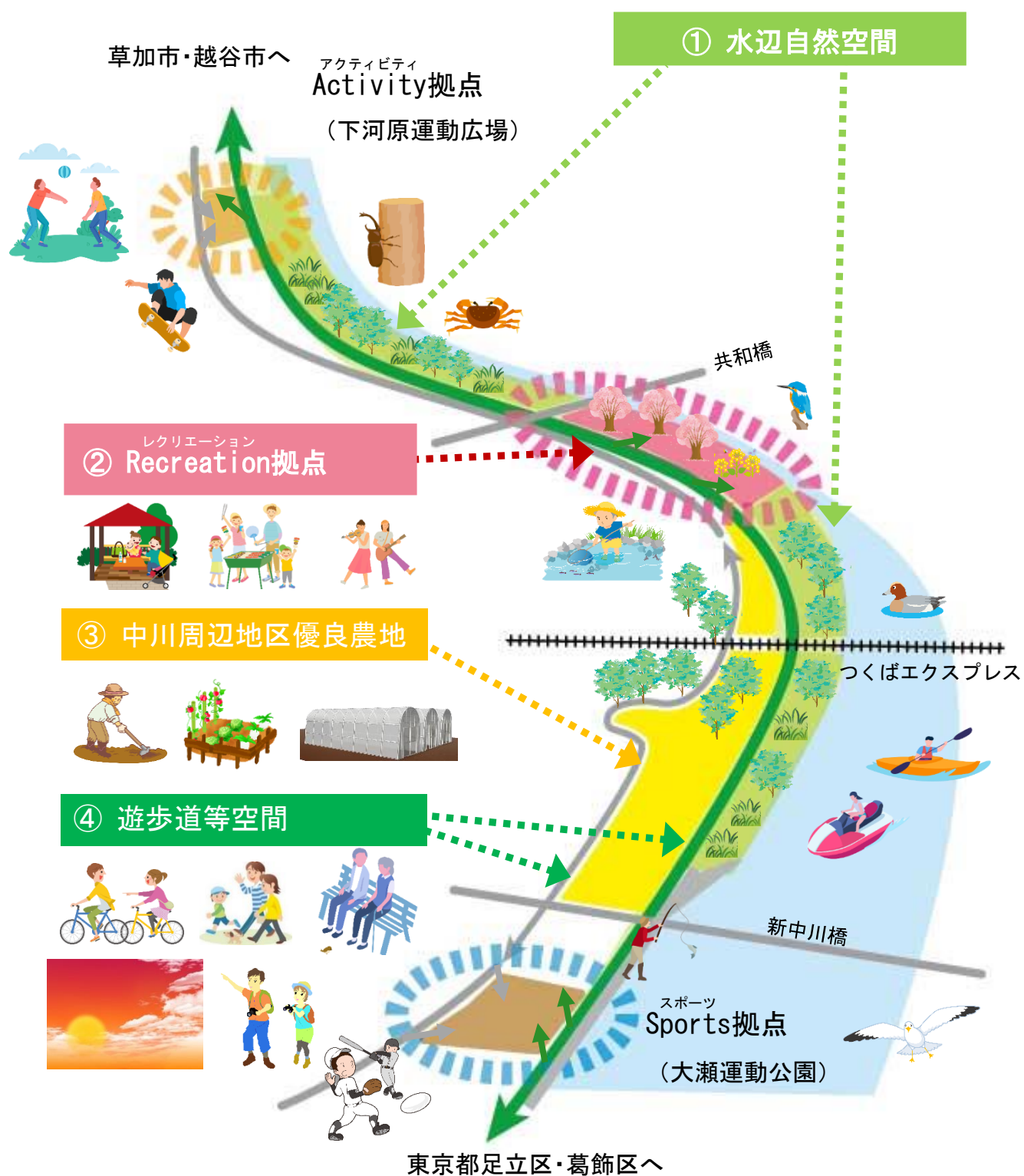
川沿いを走る日本一長い170kmのサイクリングコースの地図。地図には、トイレ、コンビニ、自転車店、見どころ等の案内が表示されている。（みさとの風広場（三郷市））

《にぎわい創出の取組みイメージ図》



4 にぎわい創出ゾーニング図

中川河川敷を特徴ごとにゾーンとしてエリア分けをし、各ゾーンにおけるにぎわい等のイメージとしてまとめました。なお、現時点で実施されていない取組み(バーベキュー等)についても、将来的なにぎわいの創出に繋がる取組み事例として、イメージ図に掲載しています。



① 水辺自然空間

- 中川河川敷に豊かな自然林やヨシ原が広がるため、カブトムシ等の生物が生息する環境を保全するとともに、自然観察等の利活用について検討します。



新堤防沿いの自然林



新堤防沿いの自然林



自然林沿いの小道



自然林内部

② Recreation拠点

- 市内外から人々が訪れていることから、新たに自然環境や周辺地域を知ってもらう仕組みづくりの構築、施設の充実や関係団体等との連携によるイベントの開催等、河川敷の利活用の促進を図ります。



花桃まつり



水辺の楽校での
カヌー教室



バーベキュー
(イメージ)



ガイドによる
自然観察会や周辺ツアー
(イメージ)

③ 中川周辺地区優良農地

- 中川沿いに市内の原風景である農地が広がるため、良好な農地景観として保全します。



旧堤防沿いの農地



旧堤防沿いの農地



新堤防沿いの農地



新堤防沿いの農地

④ 遊歩道等空間

- 中川新堤防を新たな観光資源として捉え、サイクリングコース等の整備を検討します。
- 中川旧堤防周辺は地域の原風景が広がり、夕日などの眺望が美しいため、やすらぎのある癒しの空間づくりを検討します。



新堤防(中川方面)



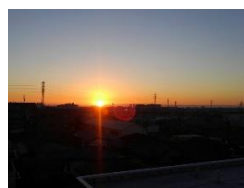
新堤防(農地方面)



原風景が残る旧堤防



眺望地点のベンチ
(イメージ)



新堤防からの夕日